

(議会運営委員会)

北栄町議会議員 津川 俊仁

## 平成26年北栄町議会 委員会研修報告書

1	日 時	平成26年11月18日(火)～19日(水) 1泊2日	
2	調 査 地	熊本県御船町 ・ 福岡県志免町	
3	調 査 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1) 議会活性化の取り組みについて	熊本県御船町議会
		(2) 議会活性化の取り組みについて	福岡県志免町議会
4	調査結果 又は概要 (意見・感想)	<p>(1) 議会活性化の取り組みについて (熊本県御船町議会)</p> <p>熊本県御船町は、議会活性化のために平成22年、議会基本条例を制定。これに伴って、通年議会の開催、委員会の毎月開催、議会便り「あおぞら」の毎月発行が行われている。</p> <p>議会本会議が毎月開催され、その際、予算・決算審議の無い月は、ボリュームは少ないが、それでも議案の審議(条例・補正予算)の他に一般質問も行われる。本町における4回の定例会制度では、1回の一般質問者が10人から13人、通算50人(回)程度の議員が一般質問をするが、御船町では、定数16人のうち2人から3人の議員が12回の議会で一般質問するという。通算では40人程度となる。通年議会について、特に大きなメリットがあるとは感じなかった。</p> <p>あわせて、議会便り「あおぞら」の毎月発行などについて、「大変な作業ですね」との問いに、「1期目の議員が多く、私たちはそれが当たり前とっていました」との事。1ヶ月を、週単位でとらえ、全員協議会、委員会、議会、広報編集とローテーションを組んで開催している手法を聞き、通年議会を続けるためのエネルギーの必要性和知恵を感じた。</p> <p>また、議会アドバイザー制度が導入されているが、この制度は、年1回の意見交換会と、通年においての問い合わせが出来る制度となっているとの事で、この制度については導入の検討をすべきと感じた。</p> <p>モニター制度については、2年任期で、当初6人から2期目7人、現在5人との事。ボランティアでの取り組みであり、制度そのものはすばらしい制度だが、運営には大変な困難があると感じた。</p> <p>あおぞら会議の開催もなされている。</p>	

<p>4</p> <p>調査結果 又は概要 (意見・感想)</p>	<p>(2)議会活性化の取り組みについて（福岡県志免町議会）</p> <p>石炭採掘で潤った時代から現在は福岡市の近隣町として、日本で一番人口密度の高い町の志免町。「町のシンボルともいえる炭鉱跡地の立坑櫓（志免鉱業所立坑櫓）とボタ山は、かなりの土地を占有しているため、長年その利用方は議論されているが、撤去に莫大な費用がかかることと、土地が3町（志免町・須恵町・粕屋町）にまたがっている事などから、未だ手付かずのままとなっている」との事。（ウイキペディアより）雑草に覆われた山が市街地すぐ横にあり、言われなければボタ山とは分からない。</p> <p>志免町議会でも、議会報告会が開催されている。この会でも出された質問等の項目は議会広報に掲載されている。問題点として、参加者の減少や同じ人の参加しにくいなどの反省があり幅広い参加者の確保のため、報告会の内容についての検討が必要とのことであり、どこも同じ悩みをもっているなどの印象を受けた。</p> <p>また、議会報告会とは別に一般会議を行っている。各種団体からの意見を聴く会ということで、開催の希望を取りまとめ、議運で協議して所轄の委員会で担当して開催している。新興住宅地として人口増加が続いている町だけに、町政へ関心がある町民とそうでない町民との差が多く、議会運営の難しさが本町とは違う所にあると感じた。</p> <p>さらに、議員定数が現在14人だが、来年4月の統一地方選挙で12人になるとの事。この定数削減議論の発端は、町民による定数削減請願によるものであり、議会で審議がされ、1票差で可決されたこと。本町においてもこのような手法（町民提案型）が行われる可能性もある。いつでも情報公開をし、自らの活動を広く発信することが議員個人に求められる時代になってきたと感じた。</p>
---	---